

## そびえ立つカツラの巨木

園内を探検しながらカツラの木を見つけてみてください。日本や中国に自生するカツラは花をつける落葉樹で、60 フィートの高さになることもあります。

桂の若木は、古い幹から生え育ちます。この若木が幹になり、古い幹にリング状に伸びた木へと成長します。そのため、もとなる古い幹が枯れても、木としては再生・成長し続けるのです。春にみられる、カツラの新芽は鮮やかな赤紫色で、夏には緑の葉になり、秋には黄色へと変化します。落葉すると、キャラメルや、綿菓子、黒砂糖に似た、独特の甘い香りを放ちます。

和琴半島にはカツラの木がたくさん生育しています。和琴半島自然探勝路からは、木屈斜路湖の周りに育つ々や、その他の面白い植物を見ることができます。